

宮之城少年野球スポーツ少年団

全国大会出場

5月3・4日、枕崎市で開催された第25回全日本学童軟式野球大会鹿児島県予選で、宮之城少年野球スポーツ少年団が創立31年目にして念願の優勝を果たしました。

この大会で夢を現実にした主将の富満祐太くん（盈進小6年）は「初出場ですが、全国の強豪を相手に気持ちで負けないようにしたい。」と意気込んでいました。

同スポーツ少年団は、8月に茨城県水戸市で開催される「小学生の甲子園」と呼ばれる全国大会に鹿児島県代表として出場します。

大会での活躍を期待します。



全国大会頑張ります

ミニSSLを楽しむ子どもたち



子どもの日特別イベント

ミニSSL・竹細工体験

5月5日、子どもの日の特別イベントとして、ミニSSLや竹細工無料体験が北薩広域公園で行われました。

汽笛を鳴らし蒸気を出して走るミニSSLには子どもたちが長い列を作り、竹細工教室では、家族で楽しそうに竹とんぼやウグイス笛作りに挑戦する姿が見られました。

また公園内では、4流派8組によるみやんじょ五ツ太鼓共演会も行われ、それぞれの曲に合わせて五ツ太鼓の音を公園内に響かせていました。

宮之城農業高等学校

交通安全キャンペーン

4月26日、「春の農高交通安全キャンペーン」が宮之城合同庁舎前の交差点で行われました。

これは、宮之城農業高等学校が春の全国交通安全運動の一つとして、宮之城警察署の協力を得て実施しているものです。

同校の農業クラブ役員や生徒会役員などがドライバーに交通安全を呼びかけるチラシとしおり、自分たちで育てた花の苗（マリーゴールド）を配布しました。



交通安全を呼びかける生徒

さつま町指定文化財（記念物史跡）

長福寺跡古石塔群

求名下手にある石塔は、西暦1248年にこの地に領主として関東地方から来た渋谷一族の鶴田氏の墓石だと言われています。

この石塔は鶴田氏の菩提寺であった長福寺から出てきたと言われており、当時は長福寺にありましたが、現在は下手公民館の敷地に移されています。



長福寺跡古石塔群